

・復活後第一主日

# 泉のほとり

今日の詩編「第四十一編」

いかに幸いなことでしよう

弱いものに思いやりのある人は。

災いのふりかかるとき

主はその人を逃れさせてくださいます。



## 必ず復活すると

今日はイースターです。主イエスが復活されたことを記念し祝う日です。二千年前に起こった主の復活がわたしたちにこの上ない喜びなのは、理由があります。ひとつには、それが、神さまがおられることを明らかにするからです。神さまでなければ、そんな出来事は起こせないからです。もうひとつは、真実の愛であり、わたしたちの希望である主イエスが、生きておられることを告げるからです。三番目は、聖書に書いてあることが真実だと示すからです。わたしたちは確信をもって聖書を読み、信じることができます。

でもわたしたちは、昨日までレントの期間で、自分の罪と向き合いながら過ごしてきたことを、忘れることはできません。初代教会では、洗礼式は年に一度イースターの日の朝に行われました。受洗希望者は一年間準備をして、その日を迎えます。特にその日が近くなると断食をしながら自分の罪を悔い改め、罪から離れる決心をします。そしていつからか、受洗希望者と一緒に、教会全体がその時期を守るようになりました。これがレントです。イースターを心から喜ぶために、自分の罪と向き合うことが必要だからです。

主が十字架にかかれた時、周囲のすべての人が「神の子なら自分を救ってみよ」と言って主を嘲りました。でも一人だけそうしない人がいました。一緒に十字架につけられていた強盗

です。彼はもう一人の強盗が主を嘲るのを聞いて、彼を諷め、「我々は自分のしたことの報いを受けているのだから、こうなったのは当然だ」と言いました。自分の罪を他人のせいにはせず、言い訳もしないで、罰を受け入れたのです。そういう心で見ると、何の罪もない主イエスが隣で十字架についておられるのは、この自分と共についてくださるためであることが、わかったのです。だから主に向かい「あなたの御国においてになるときには、わたしを想い出して下さい」と言いました。それに対して主は「あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」とお答えになりました。心動かされる対話です。

でもその後、主イエスは死に、強盗も死にました。そのまま何も起こらなければ、強盗の言葉も主イエスの言葉も寧ろ消えてしまいます。でも神さまはそのことをお許しになりませんでした。主を復活させられたのです。墓を訪れた女たちに天使が「人の子は必ず・三日目に復活することになっている」という主の言葉を告げた通り、すべては神さまのご計画なのです。

人は、神さまなしの天国なるものを考え出し、死んでもそこで生き続けられるような空しい幻想を抱きます。でもそんな天国などどこにもありません。人は死んだら跡形もなく消えるだけです。ただ主イエスがわたしたしを覚えていてくださることだけが希望です。そこに永遠の命があるからです。

## 鏡に映すように

・・・死の力を奪い・・・

テモテへの手紙② 一章一〇節

あの大層な黒幕は

子どもも大人も屈伏させていたが、  
屈伏させられてしまいました。

あのボスの中のボスは

もはや業巨権を持っていません。

キリスト・イエスよ

あなたがよみがえらされた時から、

ああ、ああ、

わたしたちの貧しい日々

でもお前はまたそれを見ていない。

神の認識、それを我々は今のところ彼の言葉から得ているが、確かな真実であり、何ら偽りを含まない。しかしこの認識は、我々がいつか神を、顔と顔を合わせて見ることに比べると、「暗くおぼろげな」ものと呼ばれる。

カルヴァン

R・ポーレン著 「祈る」より

楠原博行氏の訳による

## 今日のお知らせ

○今日の礼拝の中で、三月教会総会で新たに選ばれた役員の内職式をします。

○礼拝後、教会学校はありますが、ロビーでのコーヒーマービスと「ぶどうの会」はお休みです。なお、一時一〇分から、幼稚園舎一階のコスモスの部屋で楽園音楽伝道師の指導による讃美と祈りの会が開かれます。総会前のため短い時間一五分ですが、どうぞご参加下さい。

○正午から四月教会総会を開きます。昨年度の決算と活動報告を聞き、それを承認する総会です。教員はご参加ください。三月教会総会記録が快足しに配布されています。手違いで配布が遅くなりました。できるだけ総会前に日を通してください。

○次週の午後、久しぶりにハイデルベルク信仰問答を学ぶ会を行います。今回は問六五〜六八です。説教と聖餐の意味について教える箇所です。よく読んでご参加ください。

○次回の洗礼式と転入会式は七月二十八日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は、入信記を書いて、五月一九日までに牧師宛にご提出ください。

○今日午後六時から他教会員の前夜式が礼拝堂で行われます。午後はその準備が礼拝堂でなされます。葬式は明日午前一一時からです。

○七月二十六日（金）に行われる第二十六回メサイア公演のチケットを売り出しました。事務所カウンタにチラシと申込用紙とがごさいいます。

## 公 告

二〇一九年四月二十一日

キリスト品川教会牧師 古村 和雄

記

日 時 二〇一九年四月二十八日(日) 正午

場 所 グローリア・チャペル・ホール

議 事

1. 2018年度教勢行事報告承認に関する件
2. 2018年度諸会計補正予算ならびに決算報告、財産目録承認に関する件
3. 2018年度諸報告承認に関する件

## 聖書の会

5月1日(水)

祝日のため、お休みです。

## 次週礼拝

- 第一礼拝(午前9時30分)
  - 讃美歌 22番 讃2157番
  - 説教「体のよみがえりを信じる」
  - 聖書 ルカ24章36〜43節
  - 説教者 菊池美穂子 副牧師
- 第二礼拝(午前11時10分)
  - 讃美歌 146番 336番
  - 詩篇 23篇
  - 説教「苦しみから希望へ」
  - 聖書 ローマ5章1〜5節
  - 説教者 古村和雄 牧師





## 一回礼拝 (午前10時)

讃美歌 讃21 189番  
148番

説教 「ああ、愚かな者たち」

聖書 ルカ24章13～27節(新約P160)

司式 山名隆史兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允澁 副牧師

前奏曲「あめなる喜び」 L.スミス

### ○讃21 189番

1. ちいさいこどもの サムエルは  
かみさまのよぶこえ ききました  
「サムエルよ、サムエルよ」
2. ちいさいこえて きょうもまた  
かみさまのよぶこえ きこえます  
ぼくのなまえも、わたしのも  
「しもべはききます。主よ、おはなしてください」  
アーメン

### ○ピアノによる讃美

「主よ、私がここにおります」 フェドクソン

### ○聖歌隊による讃美

「おどろくな」 M.ワグネル  
おどろくな おどろくな  
十字架につけられし ナザレのイエス  
イエスを洩れらたずぬれど  
すでによみがえりて ここにいまさず  
見よここなり 納めしところは  
されど行きて告げよ  
弟子たちとペトロとに行きて告げよ  
汝れらに先立ち行きたもう  
ガリラヤに行きたもう  
見えたまわん かしこみて み言葉のごと

### ○148番

1. すくいのみしは ハレルヤ  
よみがえりたもう ハレルヤ  
かちどきあげて ハレルヤ  
み名をたたえよ ハレルヤ
2. 十字架をしのび ハレルヤ  
死にて死にかち ハレルヤ  
生きていのちを ハレルヤ  
ひとにぞたまう ハレルヤ
3. 主の死によりて ハレルヤ  
すくいはなりぬ ハレルヤ  
あまつつかいと ハレルヤ  
ともにぞうたわん ハレルヤ

アーメン

聖餐曲「オッフエルトワール」 C.バウマン

後奏曲「アラブレーヴェ」 J.S.バッハ